



第2回中央港湾団交開催 産別賃金「統一回答できない」と業側回答 組合側「行動の自由留保」で3月14日に再度交渉

第2回中央港湾団交が3月7日に開催された。前回、第1回交渉において、業側が「現状、結論がでていない」として回答を留保していた産別賃金の統一回答について、業側がどう回答するかが注目の的となっていた。しかし、肝心の産別賃金統一回答について、業側は「統一回答できない」との態度に終始したため、組合側は休憩をとって対応を協議した。その結果、「大変残念な回答であり、行動の自由を留保する。具体的な行動内容は後日知らせる」と組合側より口頭で業側に通告するにいたった。その後、業側より「検討する用意がある」との発言があったため、次回、第3回中央港湾団交を3月14日に開催するとし、組合側より「強く強く再考を求める」と念押しし第2回中央港湾団交を終えた。

業側からの回答の詳細は、全国港湾のFAX通信を参照願う。

18春闘、港湾各労組の要求額

全港湾 : 基本給一律20,000円。

港荷労協 : 20,000円(基準内) + 制度賃金6%引き上げ分(基準内として)。
定期昇給制度8,000円。

全倉運 : 5% + α 。

検定労連 : 海事検定17,589円(平均)
シンケン13,576円(平均)

検数労連 : 一律20,000円。

大港労組 : 20,000円(基準内)。

全日通 : 11,000円。

以 上